

2018.08.04 原田作成

## 第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会 第2回実行委員会議事録案

日時：2018年8月4日(月)14:00-16:45

場所：奥井薬局図書室

出席者：荒井 一美、菊地 章雄、原田 泰、奥井 登美子、森 保文

- (1) 前回第1回実行委員会(2018.07.15)議事録の確認  
第1回実行委員会議事録案(別紙1)を確認した。

(報告事項)

- (2) 実行委員

岩崎氏の辞退と御供氏の追加が報告、提案され、次の名簿が承認された。

実行委員長	荒井一美				
事務局長	原田 泰				
委員	石田 幸彦	奥井 登美子	柏村 忠志	菊地 章雄	栗又 衛
	額賀 勝男	濱田 篤信	御供 文範	宮本 一美	森 保文

会計担当：菊地章雄

(協議事項)

- (3) 見学会について (担当 菊地)

別紙2に基づいて見学会の計画について検討し、以下の企画を作成した。

- ・見学会：2018年10月13日(土) 13:00-17:00
- ・参加費 3,000円
- ・参加人数 50名(暫定。正確には玉里観光に問い合わせる)
- ・マイクロバス2台(40,000×2台)
- ・コース

土浦駅ーかすみがうら市歴史博物館ーふれあいランド虹の塔ー高須の一本松ー植生帯復元地ー白菊酒造ーホテルマロウド筑波

以下の意見があり、実際に廻って詳細を詰めることとした。

- ・高須の一本松では開発前の霞ヶ浦の湖岸の状況の話を知ることができる。
- ・佃煮工場、漁港、霞ヶ浦用水ポンプ場、導水施設、ハス田、霞ヶ浦環境科学センターなどのポイントを加えられるかどうか検討するとよい。
- ・白菊酒造での見学はどういうものか。環境教育活動の話も聞けるのではないか。

- (4) 懇親会 (担当 荒井)

- ・2018年10月13日(土) 18:00-20:00 ホテルマロウド筑波、参加費 5,000円予定。  
地元の食材を使った料理など要望を出したらどうか。

- (5) 会場 茨城県県南生涯学習センター (担当菊地)

次項のプログラムの検討において分科会を行わない方向が出てきており、小講座室(54名)は不要になる可能性がある。早急に決定する。

- ・中講座室1(100名)：全体会，分科会1
- ・小講座室1(54名)：分科会2
- ・小講座室3(18名)：事務局，控室

- (6) プログラムの検討

提案された案を検討した結果、次のプログラム案がまとまった。現地実行委員、全国実

行委員の意見を聞いて早急に決定する。

9:00 開場

9:30 開会, 実行委員長あいさつ

9:40-11:00 各地からの報告(1時間 20分)

- ・霞ヶ浦からの報告(20分)
- ・各地からの報告(20分×3)

11:00-12:00 全体会 1(1時間)

「水郷水都全国会議 34年の活動とこれからの方向性」

- ・問題提起(20分×3=1時間)
  - ・34年の総括 浅野敏久
  - ・成果と課題 保母武彦
  - ・地域から見た問題 荒井一美

12:00-13:00 昼食休憩

13:00-15:00 全体会 2(2時間)

- ・午前中の論点の整理(10分) (司会)
- ・意見報告(50分 3~4件) (報告募集)
- ・会場での意見交換(45分)
- ・論点の整理(10分) (司会)

15:00-15:30 全体会 3(30分)

- ・まとめ(10分)
- ・大会宣言(5分)
- ・次回開催地の紹介(5分)
- ・閉会

(7) 開催要領, 申込用紙の作成(担当原田)

別紙3の開催要領、申込用紙の案を検討した結果、本日の議論に基づいて修正し、8月10日を目途に原稿を完成させ印刷を行うこととした。完成原稿はウェブ公開し、参加募集を開始する。郵便による発送は8月25日を目途とする。

(8) 大会資料集の準備(担当原田)

大会資料集はA4 60ページを目安とし、プログラムの修正に合わせて以下の内容案とする。

(表紙) 第34回水郷水都全国会議・霞ヶ浦大会 大会資料集

(目次)

- (1) 大会開催要領(プログラム, 開催趣旨, 実施要領)
- (2) 各地からの報告要旨
- (3) 水郷水都全国会議 34年の活動とこれからの方向性
  - ・趣旨
  - ・講演要旨
    - ・浅野敏久
    - ・保母武彦
    - ・荒井一美
  - ・公募発表要旨
- (4) 水郷水都全国会議総会資料

・活動報告，活動方針，全国会議の紹介

(5) 協賛広告

(裏表紙)

開催要領の原稿が完成した 8/10 以降、各原稿の依頼を行う。期限 9 月 9 日（第 3 回実行委員会開催日）とする。各地からの報告の原稿も同じ。その後編集を行い、10 月 1 日印刷依頼、10 月 7 日受けとりを目指すこととした。

(9) 予算

資料に基づいて予算の検討を行った。以下のような議論があった。

- ・分科会を行わなければ、会場設営費のうち小講座室 1 (16,910 円) は不要になる。
- ・印刷費に関して、開催要領の部数はもっと少なくてもいいかもしれない。今回はポスター、チラシは作成しない。
- ・通信費に関して、開催要領の郵送は少ないので 10 万円はかからないのではないかと。

(10) その他

そのほか以下のような議論があった。

①当日の分担

- ・当日の分担は次回具体的に検討する。
- ・学生アルバイトを検討したらどうか。(3,000 円×5 人など)

②「水郷水都全国会議 34 年の活動とこれからの方向性」について

- ・この検討は全国実行委員会に依頼する必要がある。
- ・運動に関する問題と組織に関する問題がある。
- ・当日まとめはどうするのか。大会宣言にする必要はないのではないかと。

③見学会に対する助成申請

菊地氏より見学会に関して茨城県の「平成30年度市民活動支援事業費補助金」の助成申請を検討していることが報告され、これを了承した。

(11) 次回会議開催予定

①次回、第 3 回実行委員会

2018 年 9 月 9 日(日)14:00 から 奥井薬局図書室

議事予定

- ・大会内容詳細検討、受付、会場など分担決定
- ・大会資料編集開始
- ・見学会、交流会詳細確認
- ・その他

②第 3 回実行委員会までの主な作業日程(日付は予定)

- ・(早急に)「水郷水都全国会議 34 年の活動とこれからの方向性」について全国実行委員会に検討依頼
- ・(8/10) 開催要領の確定、印刷依頼、ウェブ公開、参加募集開始
- ・(8/20) 開催要領印刷完了、郵送開始
- ・(8/20) 基調講演原稿依頼(～9/20)
- ・(日付未定) 見学会コース確認

(以上)